

エポキシ樹脂接着剤(熱時高接着)

EA934-11



●内容量…100g (本剤(80g) + 硬化剤(20g))

200°Cまで使用可能な常温硬化型二液性エポキシ樹脂。

エポキシ樹脂を主成分とした常温硬化型二液性エポキシ樹脂です。
耐熱性良好なエポキシ樹脂と高Tg付加型の硬化剤を組み合わせることにより、
常温硬化させた場合でも、熱時(～200°C)での接着性に優れています。
また、120°C×1時間の硬化養生を行えば、熱時接着性はさらに向上します。

特 長

- ①強力な接着力をもっています。
測定環境温度200°Cにて常温(25°C)×7日間硬化後、
5MPa(50kgf/cm²)以上、120°C×1時間養生で
10MPa(100kgf/cm²)以上の接着力を発揮します。
- ②可使時間が長く作業性に優れています。

用 途

- ①一液加熱硬化型エポキシ樹脂の用途で、仮止めが必要な個所の接着。
- ②熱配管の継ぎ手接着・補修。
- ③各種金属、セラミックの接着。

性 状

試験項目	単位	本剤	硬化剤	試験方法
外観	—	黄色透明	黄褐色透明	3TS-201-02
粘度(25°C)	Pa·s(P)	40(400)	4(40)	3TS-210-02
比重(25°C)	—	1.19	1.03	3TS-213-02
配合比	—	100	25	質量比
可使時間	分	70		25°C、100g
標準硬化条件	25°C×24時間または120°C×1時間			
硬さ	—	D82		3TS-215-01
引張せん断 接着強さ	MPa (kgf/cm ²)	18(184) : 25°C×7日間 21(210) : 120°C×1時間 23(233) : 150°C×1時間		3TS-301-11 (Fe/Fe : SPCC)
ガラス転移点	°C	100 : 25°C×7日間 160 : 120°C×1時間 170 : 150°C×1時間		3TS-501-04

※上記の特性値は実験値であり、保証値、規格値ではありません。()は参考値です。

■使用方法

- ①表面処理
接着面の水分、油分、錆、その他の汚れをきれいに取り除いてください。
錆はサンドペーパーなどで、油分はシンナーなどで落としてください。
- ②混合
本剤と硬化剤を4:1(質量)の割合で容器から取り出し、均一になるまで
混合するようにしてください。
- ③塗布
ヘラなどで接着面に薄く均一に塗布し、貼り合わせてください。貼り合わ
せたらセロテープなどでとめるか、物によってはおもしろしてください。
- ④硬化
常温(25°C)で約3～5時間で初期接着します。24時間で実用強度(50%)
に達し約7日間で完全に硬化します。混合しない限り固まりませんが、い
ったん混合すると化学反応により固まりますので、混ぜたものは可使時
間以内に使用してください。

■使用上の注意

- ①本剤と硬化剤はそのつど、必要量だけを取り出し、十分に混合してください。
混合が十分でないと硬化が不十分になり、接着不良を起こす原因になり
ます。
- ②室温で一日で硬化しますが、冬季など10°C以下の温度では、完全な接着
が行われないので、できるだけ加熱硬化を行ってください。
- ③直接皮膚に接触すると炎症を引き起こす場合があります。皮膚に付着し
た場合は、紙や布で拭き取り、石鹼水でよく洗い落としてください。眼に
入った場合は、清水で洗浄後、医療処置を受ける手配をしてください。
- ④使用後は密栓し、直射日光の当たる所、高温になる所、水のかかりやす
い所、湿気の多い所を避けて保管してください。

■廃棄方法

産業廃棄物として産業廃棄物処理認定業者に委託して処理してください。

■容器形態

100gセット:本剤(80g)、硬化剤(20g) 広口ポリ容器入り